

事業実施報告書

事業名 視覚障害当事者を地域協働の担い手として育て上げるためのワークショップ開催

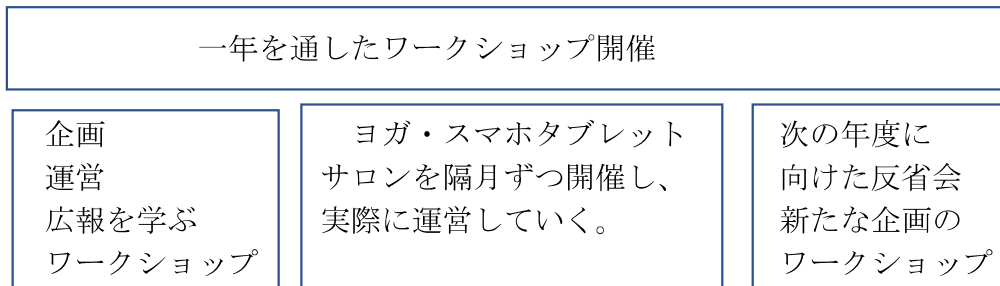
1 事業の目的

視覚障害当事者を支援を受ける立場ではなく、自ら地域協働の担い手として育てあげていくこと

2 事業内容

(1) 事業の概要

- ・視覚障害当事者が、一年を通してワークショップの企画・運営・広報を自らできるように、学びながら実施していく。



(2) 事業の流れ

- ・事業開始後、時系列で取り組んだ内容
- ・催し等の日時・会場・回数・対象・参加者数

6月6日(日) 企画・運営・広報などを学ぶワークショップ
会場 NPO 法人みのり 対象 視覚障害当事者 5名

6月19日(土) チャレンジドヨガ 開催
会場 NPO 法人みのり 対象 視覚障害当事者 15名

7月3日(土) スマホ・タブレットサロン開催
会場 NPO 法人みのり 対象 視覚障害当事者 8名

8月21日(土) スマホ・タブレットサロン開催
会場 NPO 法人みのり 対象 視覚障害当事者 6名

9月18日（土）スマホ・タブレットサロン開催
会場 NPO 法人みのり 対象 視覚障害当事者 7名

11月6日（土）チャレンジドヨガ 開催
会場 NPO 法人みのり 対象 視覚障害当事者 12名

11月23日（火）スマホ・タブレットサロン開催
会場 NPO 法人みのり 対象 視覚障害当事者 5名

12月18日（土）チャレンジドヨガ 開催
会場 NPO 法人みのり 対象 視覚障害当事者 18名

1月15日（土）スマホ・タブレットサロン開催
会場 NPO 法人みのり 対象 視覚障害当事者 7名

2月19日（土）チャレンジドヨガ 開催
会場 NPO 法人みのり 対象 視覚障害当事者 16名

2月23日日（水）企画・運営・広報などを学ぶワークショップの反省会
次年度に向けたアイデア出し。話し合い。
会場 NPO 法人みのり 対象 視覚障害当事者 5名

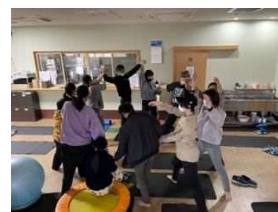
・事業の様子が分かる写真（とその説明）を数枚貼り付けてください。



芝生でヨガ



全盲の方のスマホ



室内でヨガ

（3）連携・協力機関

チャレンジドヨガ （視覚障害向けのヨガ）
ジーデザイン 関根健一 （埼玉県の共助仕掛人でもある）

3 成果及び今後の展開

- ・実施事業が団体全体の活動に及ぼした成果、効果、助成事業を行うことにより見えてきた新たな課題

今まで、NPO 法人の中で、目が見える者が目が見えないものを支援して運営していくという姿勢から、視覚障害当事者が、自ら企画・運営・広報をしていくという姿勢や気持ちが見られるようになってきた。

後半になると、視覚障害当事者の中でリーダーシップを発揮するものが現れるようになり、その人に続こうと取り組むものたちが出てきた。

課題としては、支援されていることに慣れてきている視覚障害者が自ら動き出そうとしたときに経験不足により、なかなかスムーズにいかないこと。

最初のうちは、講師がよく対話をし、自らの力で動けるようになるまでは、しっかり伴走することが必要だと思われる。

今後は、自らのアイデアにより、様々なワークショップの企画・運営・広報に携わり、動いていけるような人材を育成していきたい。